

第3学年道徳学習指導案

日 時 平成22年11月2日(火) 5校時
場 所 3年教室
児童数 9名
指導者 齋藤 真希恵

1 主題名 みんな、クラスの仲間 4-(4)愛校心

2 資料名 くうちゃんの絵(東京書籍)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

内容項目4-(4)は、「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる」ことを指導内容としている。明るく楽しい学級をみんなで協力し合って築き上げるように指導すること、このことが「愛校心」につながる。ここでは、学校という組織における児童の側の在り方を指摘している。

クラスの中には、さまざまな個性をもった子どもがいるが、おのこのよさを認め、クラスは自分達のものであるという自覚のもとに、明るく楽しいクラスをつくっていかうとする態度を養いたい。クラス中での自分の役割を果たすこと、友達と協力することがクラスのまとまりをつくり、クラスへの愛着を深めていくものになると考える。

(2) 資料について

クラスがえを楽しみにしていた「ぼく」だが、隣の席のくうちゃんをはじめクラスの友達はばらばらで、頭をかかえてしまう。そんなとき、図工の時間にくうちゃんは夢中で絵をかき、先生や友達の注目の的になる。くうちゃんのすばらしい絵の第一発見者は「ぼく」であり、感心して見守っていた。やがて、クラスのみんなども応援し、くうちゃんの絵が金賞を取ったと無邪気に喜び、クラスの一体感が自然とでき上がる。これをきっかけに、自分勝手な級友がクラスのために頑張りだすという内容である。

主人公の「ぼく」は正義感にあふれたやさしい子で、くうちゃんは軽い障害のある子として描かれているので、配慮しつつ指導していきたい。

(3) 児童について

明るく活動的な児童である。低学年から中学年となり低学団のリーダーとして、張り切って活動している。グループ活動を取り入れ、みんなで協力することの大切さを学習しているが、自分の意見が通らないと機嫌を損ねたり、自分勝手な言動も見られたりする。

また、困っている友達に声をかけるなど優しさも見られるが、素直に自分の非を認めない児童も多い。悪いことだと思っても、はっきり断れず流されてしまう児童もいる。

先日の意識調査から、「主として自然や崇高なものとのかわりに関すること」は意識が高かったが、「主として自分自身に関することについて」は、他の視点よりも意識が低いことがわかった。「愛校心」については、数値としては高いが、子ども達の実態からみると、自分勝手な行動がみられるなどまだまだ身についていない。また、グループ活動や各行事を通して、それぞれのよさをわかってはきたが、まだそれらを認め合うことができない。

そこで、この資料を通して学級としてのまとまりを感じ、より楽しい学級を作っていこうとする主人公に共感させながら、一人ひとりのよさを認め合い、まとまりを作っていく大切さを考えさせ、クラスへの愛着を深めさせたい。

4 本時を「要」として位置づけた指導構想図

	特別活動・体験的活動	道徳の時間	各教科の学習	日常指導・その他
八月				
九月	○マラソン大会 目標に向かって、励まし合いながら取り組む。		○理科 花と実をしらべよう ハウセンカの観察を通して、他の作物への関心を高め、みんなで収穫の喜びを味わう。	○学級目標 「あ あかるいあいさつ く くげない心 しゅしゅうちゅうする力」 を意識させ、手を取り合って活動していく。
十月	○学習発表会 みんなで作りあげる喜びを体験させる。		○社会 かいものにでかけよう 約束を守り、班の人と協力して行動する。	○班活動・係活動では、リーダーを中心とした活動を取り入れる。
十一月		◇みんな、クラスの仲間 「くうちゃんの絵」4-(4)愛校心 ・学校生活に親しみ、明るく楽しいクラスにしていこうとする心情を育てる。		○大縄跳びなど、遊びを通して、みんなで作りあげる喜びを体験できる活動を取り入れる。
十二月	○学級活動 2学期を振り返り、よりよい学級にするために話し合う。			
二月	○委員会活動 学校のために上級生と力を合わせて活動する。		○音楽 パフ（合奏） それぞれの音色の重なりを考えて合奏する。	○4年生に向けて、学級から学校へと目を向け活動できるよう声がけをする。

5 研究テーマに関わって

「心豊か」

先生や友達と楽しい学校生活を送る子ども



<仮説（1）児童の思考や話し合いを深める手立て>

○発問の工夫

- ・夢中で絵をかいているくうちゃんを見た「ぼく」の思いを問い、くうちゃんに対する気持ちの変化を考えさせる。

○板書の工夫

- ・3年1組に対する「ぼく」の気持ちの変容を、構造的に組み立て、考えを深めさせる。

<仮説（2）表現活動などの言語活動の位置づけ>

○書く活動

- ・前と違ってきた3年1組へ手紙を書き、道徳的価値の自覚を深める。

6, 資料分析 資料名「くうちゃんの絵」

場面	<p>クラス替えを楽しみにしていたが、自分勝手な人が多く、2組とのドッジボールの試合に負けてしまう。</p>	<p>図工の時間、夢中で絵をかいているくうちゃんに気付いたぼく達。</p>	<p>くうちゃんのかいた絵が金賞をとり、喜ぶみんな。</p>	<p>前とは違う3年1組。</p>
主人公と公りのま行く為状況と況	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス替え。 ・担任はやさしそうな森田先生。 ・親友のけんくんと同じ組。 ・隣の席はくうちゃん。 ・自分勝手な人が多い。 ・朝礼はべちゃくちゃうるさい。 ・ドッジボールの練習には集まらず、試合はすぐに負けてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3、4時間目の図工、「ゆめのせかい」をはりきってかきだす。 ・くうちゃんが夢中になってかいている。 ・みんながくうちゃんの周りに集まってきた。 ・くうちゃんは一生懸命かいていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・くうちゃんの絵が、市の展覧会で金賞をとった。 ・クラスのみんなが喜んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼の時、だれかがしゃべると注意し合う。 ・ドッジボールは、みんな集まって練習している。 ・そうじも頑張っている。 ・くうちゃんもそうじをするようになった。 ・とても楽しいクラス。
主人公の意識の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなクラスかな、楽しみだ。 ・先生もやさしそうだ。 ・けんくんと同じクラスでよかった。 ・くうちゃんは、好きなことしかしないでするいなあ。 ・自分勝手な人が多くて嫌だな。 ・1組は朝礼の時うるさいなあ、静かにしてよ。 ・ドッジボールの練習をしようっていったのに、どうしてこないんだ。だから、負けちゃうんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さあ、はりきってかくぞ。 ・くうちゃんの絵はきれいだな。絵が好きなんだ。 ・最後まで頑張れ。 ・くうちゃんの絵がきれいだって最初に発見したのは、ぼくだぞ。 ・くうちゃんの絵にはかなわないなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金賞なんてすごいね。 ・やったね、くうちゃん。みんなも喜んでよ。 ・不機嫌そうにしていたけど、にこっとしたのぼくは見たよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼が静かになってよかったな。 ・ドッジボールの練習もみんなでするようになってうれしいな。 ・そうじも頑張って、教室もピカピカだ。 ・くうちゃんもそうじをするようになったよ。 ・なんか、今までとは違って、楽しいクラスになってきたな。 ・くうちゃんのおかげかな。
児童の意識変容の過程	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいクラス楽しみだね。 ・先生もやさしそうだし、けんくんと同じクラスでよかったね。 ・くうちゃんって不思議な子だね。 ・朝礼は、静かにしなきゃ。 ・練習しなきゃ、負けちゃうよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・くうちゃんって絵がうまいだね。 ・みんなで応援してすごいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入賞してよかったね、みんなも喜んでよ。 ・やっぱり、うれしいよね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・静かになってよかったね。 ・練習もみんなですべていいね。 ・教室もきれいで気持ちがいいね。 ・くうちゃんのこと、みんなで応援してよかったね。 ・楽しいクラスになってきたね。
基本発問	<p>クラス替えを楽しみにしていた「ぼく」が、いやになっちゃったのはどうしてでしょう。</p>	<p>図工の時間、夢中になって絵をかいているくうちゃんをみて、「ぼく」はどう思ったでしょう。</p>	<p>くうちゃんの絵が、市の展覧会で金賞を取ったと聞いた時、「ぼく」はどんな気持ちになったでしょう。</p>	<p>前と違ってきた3年1組をみて、「ぼく」はどんな気持ちでしょう。</p>

7 本時の指導

(1) ねらい：学校生活に親しみ、明るく楽しいクラスにしていこうとする心情を育てる。

(2) 展開

	学習活動と主発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ()は仮説に関わる事項
導入 5分	<p>1 学級のみennaと一緒に活動して楽しかったことを話し合う。</p> <p>・学級のみennaと一緒に活動して、楽しかったことは何ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 音読発表会 大縄跳び 劇の練習 	<ul style="list-style-type: none"> 学級のみennaと一緒に活動して楽しかったことを自由に言わせる。
展開	<p>2 「くうちゃんの絵」を読んで話し合う。</p> <p>(1) クラス替えを楽しみにしていたが、自分勝手な人が多く、2組とのドッジボールの試合に負けてしまう場面について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>クラス替えを楽しみにしていた「ぼく」が、いやになっちゃったのはどうしてでしょう。</p> </div> <p>(2) 図工の時間、くうちゃんが夢中で絵をかいている場面について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>図工の時間、夢中になって絵をかいているくうちゃんを見て、「ぼく」はどう思ったでしょう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> どんなクラスかな。 先生もやさしそうだ。 けんくんと同じクラスでよかった。 くうちゃんは、好きなことしかしなくてずるいなあ。 自分勝手な人が多いな。 朝礼の時も、うるさいなあ。 練習しようっていったのに。 だから、負けちゃうんだ。 <ul style="list-style-type: none"> くうちゃんの絵はきれいだな。絵が好きなんだ。 最後まで頑張れ。 くうちゃんの絵がきれいだって最初に発見したのは、ぼくだぞ。 くうちゃんの絵にはかなわいなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいクラスを楽しみにしていた「ぼく」の気持ちをつかむ。 くうちゃんの人物像にふれる。 新しいクラスを楽しみにしていたのに、クラスがばらばらで嫌になってしまう「ぼく」の気持ちに共感させる。 (発問) 3年1組に対する「ぼく」の気持ちの変容を、構造的に板書する。 (板書) 夢中で絵をかいているくうちゃんを見た「ぼく」の思いを問い、くうちゃんに対する気持ちの変化を考えさせる。 (発問)

37分	<p>(3) くうちゃんのかいた絵が、金賞をとった場面について話し合う。</p> <div data-bbox="199 353 608 517" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>くうちゃんの絵が、市の展覧会で金賞を取ったと聞いた時、「ぼく」はどんな気持ちになったでしょう。</p> </div> <p>(4) 前とは違う3年1組の場面について話し合う。</p> <div data-bbox="199 842 608 960" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>前とは違ってきた3年1組をみて、「ぼく」はどんな気持ちでいるでしょう。</p> </div> <p>3 前と違ってきた3年1組へ手紙を書く。</p> <div data-bbox="199 1406 608 1487" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>前と違ってきた3年1組へ手紙を書きましょう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・金賞なんて、すごいね。 ・やったねくうちゃん。みんなも喜んでよ。 ・不機嫌そうにしていたけど、にこっとしたのぼくは見たよ。 ・朝礼が静かになってよかったな。 ・ドッジボールの練習もみんなで作っていいね。 ・そうじも頑張って、教室もピカピカだ。 ・くうちゃんも掃除をするようになったよ。 ・なんか、今までとは違って、楽しいクラスになってきたな。 ・くうちゃんのおかげかな。 ・友達のいいところを、みんなで喜ぶことができてよかったね。私達も、みんなに負けないくらい、楽しいクラスを作っていくよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・くうちゃんの絵を応援していた「ぼく」が、くうちゃんの入賞を喜ぶ気持ちに共感させる。 (発問) ・くうちゃんの入賞を、クラスみんなも喜んでいてつかませる。 ・前と違ってきた3年1組を見た「ぼく」の気持ちを問い、みんなでくうちゃんの入賞を喜び、そのことがきっかけにクラスがまとまってきたことに気付かせる。 (発問) ・前と違ってきた3年1組へ、どんなことを呼びかけるか、ワークシートに書かせる。 (書く)
終末 3分	4. 教師の話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中で、それぞれのよさを認め合い、頑張っていたことを話す。

(3) 板書計画

くうちゃんの絵

新しいクラス

- ・ 楽しみ
- ・ ばんばんざい

ああ、いやになっちゃうよ

- ・ 練習しようっていったのに。
- ・ だから負けたんだ
- ・ もういやだ。

くうちゃんがむちゅうで、クレヨンをうごかしていた

- ・ くうちゃんの絵、きれいだな。
- ・ 絵が好きなんだ。
- ・ 最後まで頑張れ。
- ・ みんなも応援してるよ。
- ・ 最初に発見したのは、ぼくだぞ。

くうちゃんの絵は、金賞をとった

- ・ 金賞なんて、すごい。
- ・ やったね、おめでとう。
- ・ みんなも喜んでるよ。
- ・ やっぱり、うれしいよね。

それから、三年一組はなんかちがう

- ・ 注意し合う。
- ・ みんなで練習。
- ・ 教室がピカピカ。
- ・ なんか、今までとちがう。
- ・ くうちゃんのおかげかな。

ぼくの表情絵

みんなの絵

くうちゃん
の絵

ぼくの表情絵

友達のおけいぎをみんなに

とっても楽しいクラス

(4) ワークシート

くうちゃんの絵

名前 ()

☆前とちがってきた三年一組のみんなに、
どんなことを呼びかけますか。

三年一組のみなさんへ

前とちがって
きた三年一組

3年生

自分の非を素直に認められない児童が多かったが、道徳の授業後、「〇〇ちゃん、それダメだよ。」「正直に言った方がいいよ。道徳で勉強したでしょ。」とお互いに声をかけ合えるようになってきた。